

## レストラン二条 れすとらんじょう

心がほわっとする灯り

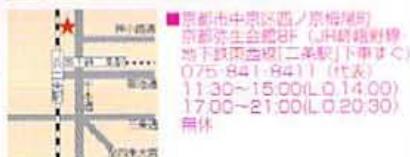


2人で訪れるなら、こだわりある『森島』の焼酎野湯豆腐会席4000円(要予約)がおすすめと料理長

平均予算

1500円  
昼  
夜  
4000円

残念ながら、京都の夜景シーンは少カジミ日。そのワケのひとつは、絶対的にベストスポットが少ないってこと。でも街の灯が手に取れそうなほど間近に、そしてとひきりの席で見ることができたなら…。そう、三方を囲む壁一面のガラスで、夜景への憧れを手元へと引き寄せてくれるのがコチラ。和洋をチョイスできるメニュー構成も、気取らず時を過ごすためのポイント。きらめきとくつろぎが共にある、とっておきシートへようこそ。



## La Muse ラミュース

あったか甘くとろかせる



春のコース3800円。新鮮な北山の地野菜に小鍋の湯気で、健康スマイルを約束するお料理。パン・コーヒー付

コンサートホールにあるからって、使い時はクラシック鑑賞の後だけじゃない。北山歩きのいつもデートを、普段よりちょっとだけエレガントにシメたいならココ。阪本シェフはフランスの星付きレストラン出身、腕も勿論お墨付き。隣の席からも熱い視線を感じる湯気たっぷりの料理の仕上げは、甘くラブリいな「苺とチョコレートの Milfie ユ」。単品(450円)でも終日オーダー可能。スイート・デイに彼氏にゴチソウしてあげて。

■京都市左京区下鴨半木町1-26  
京都コンサートホール内  
075-712-2710  
11:30~14:00(ランチタイム)  
14:00~17:00(ディナータイム)  
17:00~23:00(L.O.22:00)  
第1・3月無休



## GARUDA ガルーダ

薄衣ヴィラで二人きり

夏の鴨川にも負けぬカップル率の高さを常に誇るガルーダは、スイートスケジュールがいっぱいのこの時期も活用度は鋭角アップ。中二階から地階へ、ロフトへ。まるで迷宮のように複雑に敷かれたほの暗い導線の先には、天幕付きのベッド席や白いペールのパオなど、ホール以上個室未満のほどよい密着空間。バレンタインの夜にはロウソクの灯りが揺れるオリエンタルな楽園へカレをエスコートして、乙女のウデもちょっと見せとこ。

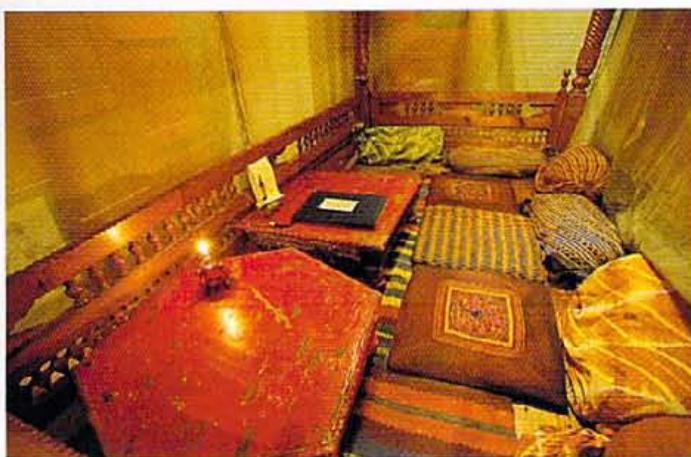


4人でも余裕で座れそうなベッド席は指名率高し。海老のガーリック炒め730円、ナンゴレン850円

京都市中京区新町通河原町東入ル備前出町307  
PL EXUSビル6F  
075-855-7779  
17:30~24:00(L.O.23:00)  
無休

平均予算

3500円



近頃の甘いもんは…どないですか？

時は二月、バレンタイン。チョコだけが甘いもの？  
いえいえ、街のあちこちがスイートな空気で満たされて  
甘いひとときを二人で過ごす、そんな季節  
京の町を彩る甘いもんを、ごらんあれ

和のしつらえでもてなしてくれる「大人」の空間がここにある。カウンターの奥には坪庭が配され、街の喧噪を忘れさせてくれる瞬間だ。好みに合わせて作ってもらえるカクテルの他、華茂川はな美と同じくワインも充実

エントランスは水と石と光が印象的なスペース。光に浮かび上がるガラスの階段が、甘い時間への入り口だ



華茂川はな美では2月にバレンタイン・コースがお目見え。和に洋のアレンジを効かせた料理にグラスワインが付いて8000円(2名分・要予約)



## BAR Rouge バー ルージュ

### 大人心くすぐる夜のギャラリー 彩るのは自分自身、そんなバー

静謐かつストイックな存在、それがギャラリー。一方、時に妖艶でさえあるバー。まったく正反対とも言える2つがひとつとなって姿を現したのが、BAR Rougeだ。オーナー・清水氏の「テーマは女性。エッチさを形にして欲しい」との思いを、期待以上に予想を裏切り、形作ったのは建築家・關聡志氏。華茂川はな美に続く2人の組み合わせは、「大人」を意識させずにいられないシーンをまたひとつ提案した。モノトーンでミニマルに仕立てたバーは、実際にスポットライトに浮かぶギャラリーとしても機能しつつ、佇む人——とりわけ女性ひとりひとりを「作品」として引き立てるスペースでもある。まるで紅をさすように、色を抑えたハコを女性が彩る。自分自身をより魅力的に演出する場をバレンタインの一軒に選ぶこと、これが贈り物ですらあってもいい。そんな強気も許せてしまうほど。

隣接してあるのは、ベル・フルールはな美。華茂川はな美に続いて「大人の女性が男性を誘ってこれる場所」というコンセプトをキープしつつも、さらにターゲットの開口を広げるという至難の技を実現した。洋を意識した割烹として、BAR Rougeを2軒目を選ぶための1軒目としても力強い存在。

ともに場所は少し町中から外れた伏見・赤池、新堀川通の整備に伴いロードサイド店が単に建ち並ぶのではない街が形作られようとしているこれからのスポットだ。町中からひと足伸ばしたスイート空間が、ここにお目見え。

平均予算

夜  
3500円



■京都市伏見区湯涌1号橋赤池交差点東入ル  
075-802-8400  
19:00~翌3:00 / 無休



■Belle fleur is a beauty  
ベル・フルールはな美  
京都市伏見区湯涌1号橋赤池交差点東入ル  
075-802-4600  
17:00~24:00 / 無休

■華茂川はな美  
かもかわはなび  
京都市下京区本町通西側下ル二宮橋南  
075-352-7300  
17:00~24:00 (L.O.23:30) / 無休

自信がある二人には憧れの席をこの日こそ、カップルの「高み」へ

このコースがあるから来て下さいではなく、「バレンタインにお越しなれば、このコースをお待ちしています」というスタンス。この違いが大きい。コースは5品＋デザートで8000円、4品＋デザートで6000円。もちろん、手は揃く。

スペシャルデザートとあわせてバレンタインのコースは2/8(金)～2/14(木)までのバレンタインウィーク限定



デザートは女性の為と割り切る。男性には、それ以上に甘いショコラと言葉がリバーカウンターに用意されていると信じて...

「自信のあるカップルは、川沿いのソファで思う存分見せつけて下さい(笑)。ゼネラルマネージャー小池氏自ら公言し、「いつかはあの席で…」と、世のカップルが憧れる席を揃える当代随一のダイニング。だがオフィシャルにコース仕立てのバレンタインメニューを謳うのは、実は今年が初めてになる。決してバレンタインの安売りはしない。味に則せば、「ビターな」バレンタイン。「女性から贈る日ではありますが、基本的には男性がエスコートする方が似合う場所。店のセレクトは男性にさせていただきたいですね。その上で食後にバーでシガーとチョコレートを女性からプレゼントされるとか、食事にはシャンパンからワイン、バーではチーズにデザートワイン、ポートワインもいいかもしれません」。メニューにたどり着く前、テーブルからして通常規格品では60cm×90cmが多いところ、向かい合って座っても、コーナーを挟んで隣りに座っても近い距離を感じる85cm×85cmスクエアの特注。イヤが応でも親密感が増す。長めのテーブルクロスの内側で、軽くシークレットに戯れるのも良いだろう。「こちらとしても、メニューも読めないぐらいの暗さに調光してる訳ですから、そのぐらいは結構です(笑)」。お墨付きもいただいた。全てがめくるめくスタイリッシュな夜。ここで交わされる会話は一山いくらのチョコレートではいけない。ゴディヴァ級、いや、それ以上にセレブな会話こそが似合うのだ。



■京都市下京区木室町通船場上ル  
075・351・8541  
17:30～23:00  
(月～21:00～翌3:00) / 無休



平均予算

夜  
7000円

